

国際交流基金援助事業報告書

薬学部 3 年次生 溝川 友佳子

バンクーバー 医療英語レッスン&医療施設見学 プログラム

- 期間：2019 年 8 月 18 日(日)～8 月 25 日(日) (8 日間)
- 訪問都市：カナダ のブリティッシュ コロンビア州 バンクーバー
- 研修先：Oxford International/Eurocentres Canada

[研修内容]

医療英語レッスン

病名や身体の部位の英単語や、医療現場で使用する英会話などを学びました。

授業は Reading、Writing、Listening だけでなく、特に Speaking の向上に力を入れてくださいました。授業の最終日には、ペアで選んだ疾患について、患者と医者との対話を作り、プレゼンテーションを行いました。

医療施設見学

5 件の医療施設を視察させていただきました。

- クリニック (Mainland Medical Clinic)

プライマリーケアを行うメディカルクリニックです。内科、整形外科、婦人科、皮膚科、泌尿器科など、歯科以外の全科にわたり診察を行います。

このクリニックでは、日本語の医療通訳をしてくださるそうです。

- 病院 (False Creek Healthcare Vancouver)

家庭医や専門医の診察、手術、美容外科診療、健康診断、各種検査(超音波・CT・MRI など)を行う私立総合病院です。

人工関節や豊胸手術のシリコンバッグなど、手術で身体の中に入れるものは、1 つ 1 つに ID ナンバーが振られており、どの患者の体内にあるかが細かく管理されています。

- 超音波検査施設 (Vancouver Ultrasound)

超音波検査を行う検査施設です。

上腹部、下腹部、甲状腺、乳房、頸動脈などの超音波検査や撮影したレントゲン写真を元に専門医がレポートを作成します。そのレポートが、検査を依頼した家庭医に渡るそうです。

- 血液検査施設 (Lifelabs)

血液検査、尿検査、心電図検査などを行う検査施設です。

カナダの病院では、このような検査は行わず、検査施設で行うのが一般的なようです。

- 薬局 (The Pharmacy)

調剤薬局で、薬剤師が常勤し、管理・指導の下、医薬品を調剤・販売している。

カナダでは、すべて院外処方であるとお伺いしました。また、処方箋は1年間有効。



i クリニック (Mainland Medical Clinic)



ii 薬局 (The Pharmacy)

ゲストスピーカーとの交流

1人目方はカナダで現在薬剤師をされている Ms. Noriko Morimoto にお話をお伺いしました。日本で約3年間 病院と約1年間 調剤薬局に勤務された後、カナダで薬剤師免許を取得され、2010年4月より Community Pharmacist として勤務されているそうです。

カナダでは、日本のような「お薬手帳」はないが、処方された医薬品はすべてデータ化され、オンラインによって国が管理しているそうです。また、薬物中毒患者が薬局に強盗に入ることが多いため、麻薬はセキュリティの高い金庫で管理されており、薬局の近くにはセキュリティ会社があることが多いそうです。

2人目の方は日本で4年間看護師をされた後、カナダで現在 Family Nurse Practitioner という上級の看護職につかれている Mr. Steven Hashimoto にお話をお伺いしました。

Nurse Practitioner とは、一定レベルの診断や治療などを行うことが許されており、臨床医と看護師の中間職の位置づけです。

薬物依存の患者の対応や、高齢でクリニックに来られない患者への往診も行われているそうです。

[ホームステイについて]

滞在中はホームステイをしながら語学学校に通っていました。私のホストファミリーは、両親と 18 歳の息子と 15 歳の娘、Elmo という名前のオウムがいる家族でした。今回のプログラムと一緒に参加した女の子と二人でのホームステイでした。

ホストファミリーはイタリアの方で、イタリアなまりの英語を話すので少し聞き取りづらかったのですが、1 週間もすると慣れてきました。1 週間しかいなかったのに、慣れた頃に帰るのが悲しかったです。

一番の思い出は、朝食を食べながらホストファザーと話している時間でした。放課後はいつも観光に行っていたので、帰ってくる頃にはホストファミリーの食事が終わっていて、なかなか一緒に食べる機会がなかったのですが、朝食は、一緒に話す時間があり、毎朝楽しみでした。ホストファザーがオウムの Elmo をとてもかわいがっていて、その様子が微笑ましかったです。

[観光について]

カナダはとても自然豊かでした。学校から一番近い観光地である Gastown(ギヤスタウン)では、お土産を買ったり、有名なチーズケーキのお店に行ったりなど、何度も訪れました。また、English Bay Beach(イングリッシュ・ベイ)に日の入りを見に行ったり、Stanley Park(スタンレーパーク)でバンクーバーの大自然を満喫したりしました。



iii English Bay Beach の日の入り



[感想]

私にとって、今回は3度目のホームステイでした。1度目はニュージーランドで、2度目はオーストラリアでのホームステイでした。どちらもとても楽しく、また今回のホームステイに役立つことがたくさんあり、良い経験だったと改めて感じました。

また、カナダは独自の文化というよりも移民が多いため、それぞれの文化があり、みんなが違うことは普通という印象を受けました。日本とは全く違った雰囲気に触れることができたのも、この1週間で得られたものです。

学校だけでなく、観光先やホームステイで話したいことがあってもすぐに言葉が出なかったり、身振り手振りで話したりする中で、自分の英語力を知り、課題を見つけることもできました。これらを克服するためにこれからも英語の勉強を続けていこうと決心しました。

今回の研修で私はたくさんの貴重な経験を体験することができました。研修期間中は初めてのことの連続で、1週間という短い期間でしたが、日々刺激を受けて私自身がとても成長できたように感じました。帰国してからも自分の変化を感じることがあり、その度にこの研修に参加して良かったと心から思います。

今回、このようなプログラムを企画していただき、援助のもと行かせていただいたこと、誠に感謝いたします。



v Stanley Park



vi Stanley Park のトーテムポール